

くれた」と手応えを語った。

中区 木材の特徴 親子らが理解

木材への理解を深めるイベント「もくもくまつり」(西部木材需要拡大推進協会主催、静岡新聞社・静岡放送後援)がこのほど、浜松市中区の静岡文化芸術大で開かれた＝写真＝。

同大の学生ら約20人が、親子連れなどに木の



年輪や木材製品の製造過程などについて解説した。木材の肌触りの良さや消臭効果といった特徴を紹介したほか、ヒノキを使ったバッジ作りなどが人気を集めた。展示品は持続可能な森林管理の国際基準「FSC認証」を受けた天竜産のスギとヒノキを使った。同協会と同大が連携した事業。学生のリーダー役を務めた2年加藤天音さん(19)は「子どもも大人も興味を持って